

高齢者歯科学

(担当 歯科補綴学講座 冠橋義歯補綴学分野・有床義歯補綴学分野)

第4学年 前期

前期

講義
9時間

一般目標 (講義・演習)

高齢者に特有な顎口腔領域の諸変化(顔貌、歯列、歯周組織、唾液腺、舌、免疫機能、咀嚼機能、口腔衛生管理能力など)や全身疾患(循環器系疾患、内分泌系疾患、脳神経疾患など)を持つ高齢者患者を対象に、常に全身の見地に立って適切に病態を判断し、歯科治療を実施するための基本を理解する。

講義日程

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
5月 6日(木) 4限	塩山司 (非常勤講師)	高齢者歯科学の概念 高齢者の特徴 高齢化社会の現状を把握し、高齢者歯科学の意義を理解する。 高齢者の特徴、特に社会的特徴を理解する。 高齢者の特長、特に心理的な特徴を理解する。	1. 高齢者歯科学の意義と役割を説明できる。 2. 高齢化社会の現状を具体的に説明できる。 3. 高齢者歯科医療の目標を説明できる。 4. 高齢者の社会的特徴を列挙できる。 5. 高齢者とは何かを説明できる。 6. 高齢者の社会的対応を分類できる。 7. 心理的特徴を列挙できる。 8. 高齢者の心理特性を説明できる。 9. 老化と心理の関係を説明できる。 10. 高齢者の心理疾患を分類できる。
5月 13日(木) 4限	塩山司 (非常勤講師)	加齢に伴う顎口腔系の変化 顎口腔系の形態的・機能的・生理的加齢変化を理解する。	1. 加齢に伴う顎口腔系の形態的变化を列挙できる。 2. 加齢に伴う顎口腔系の機能的変化を列挙できる。 3. 加齢に伴う生理的变化を列挙できる。 4. 加齢に伴う唾液腺の変化を説明できる。 5. 加齢に伴う味覚の変化を説明できる。
5月 20日(木) 4限	塩山司 (非常勤講師)	高齢者歯科の特徴と対処の基本 高齢者への投薬上の留意点について理解する。 高齢者に起こりやすい偶発事故と対策について理解する。	1. 加齢に伴う生理学的変化を説明できる。 2. 薬物の体内動態、薬物の感受性の変化を説明できる。 3. 誤飲、肺内吸引について説明できる。 4. 治療時の気道、食道異物への対応を説明できる。 5. 高齢者の感染予防対策を説明できる。 6. 高齢者における全身管理を説明できる。
5月 27日(木) 4限	古屋純一准教授	治療方針と処置 高齢者の顎口腔系の疾患について理解する。 高齢者における歯髄、歯周疾患について理解する。	1. 高齢者に多い顎口腔領域の疾患について説明できる。 2. 観血処置における留意点を説明できる。 3. 歯内療法における留意点を説明できる。 4. 歯周治療における留意点を説明できる。 5. 補綴治療時における留意点を説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
6月3日(木) 4限	古屋純一准教授	高齢者の口腔衛生と食生活 口腔衛生指導の重要性について理解し、高齢者の食生活について理解する。	1. 高齢者、介護者への口腔清掃指導を説明できる。 2. 高齢者への栄養、食事指導を説明できる。
7月8日(木) 1限	古屋純一准教授	高齢者の摂食・嚥下障害 高齢者の摂食・嚥下障害とその対応について理解する。	1. 高齢者の摂食、嚥下障害の原因を説明できる。 2. 高齢者の摂食・嚥下障害の評価を説明できる。 3. 高齢者の摂食・嚥下障害の対応を説明できる。

主な参考書（※教科書として指定）

書 名	著者氏名	発行所	発行年
※高齢者歯科ガイドブック	植松 宏ほか編	医歯薬出版	2003年
イラストでわかる有病高齢者 歯科治療のガイドライン	西田百代	クインテッセンス出版	2002年
高齢者歯科医療マニュアル	田中義弘、新庄文明編	永末書店	1992年
有病者・高齢者歯科治療マニュアル	上田 裕ほか編	医歯薬出版	1996年
在宅老年者の歯科診療入門	佐藤雅志、鈴木俊夫編	医歯薬出版	1991年

成績評価方法

定期試験（本試験） 100%

オフィスアワー

氏 名	方式	曜日	時間帯	備 考
古屋 純一	B - ii	月～金	いつでも可	医局でアポイントを取る